

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成25年度第6回定例会会議記録
開催日時	平成25年9月25日（水曜日） 午後6時30分から8時55分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：中曾根聡、渡辺文子、武司一郎、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、糸山時子、真鍋五十鈴、畠山昭裕、上田幸夫 職員：田中館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長
欠席者	委員：野澤幸美、小林克彦、西原みどり、新藤浩伸
議題	1 第5回定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連委員部会運営委員会報告 （4）教育計画策定懇談会報告 （5）公共施設の適正配置等の報告 （6）第54回関東甲信越静公民館研究大会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 協議事項 5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成25年度第6回定例会次第 資料2 平成25年度第5回定例会会議録 資料3 公共施設の適正配置に関する基本方針・基本計画抜粋
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	
<p>議題1 第5回定例会の記録について 訂正なし</p> <p>議題2 報告事項</p> <p>（1）行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会で9月補正予算が可決した。 ・9月19日から9月26日の予定で24年度決算特別委員会が開催されている。 <p>（2）公民館だより編集室報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書のとおり ・8月1日号に関連して、市民から意見をいただいた件についてはどのように対応をするのか匿名ではないので、検討して必ず回答を行う。 <p>（3）都公連委員部会運営委員会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回研修は12月1日に柳沢公民館で開催する。講師は伊藤静一氏（元福生市公民館長）。演題は「三多摩の公民館の今日的課題～公民館は誰のための公民館か」、である。公民館入門編、公運審の役割等である。12月1日を予定しているので、ご参加願いたい。 ・当市の公民館活動は活発なのだから、全国公民館表彰に向けて応募したらどうか。都公連に問合せたらどうか。 	

(4) 教育計画策定懇談会報告

西原委員欠席のため、なし。次回報告をする旨（10月8日開催分）

(5) 公共施設の適正配置等の報告

「公共施設の適正配置に関する基本方針・基本計画」に基づき内容説明
(公民館内PTの取り組み経過報告等)

田無公民館の耐震対応

- ・公民館としての機能面を中心に、然るべき条件について取りまとめている。
- ・3月の利用者懇談会で説明を予定している。
ひばりが丘または谷戸公民館の市見直し検討（市民交流施設への転換）
- ・転換が可能かどうかということを検討
- ・両館とも都から借用していることから、転換にあたっては、一定の制約があるので難しい。
- ・谷戸の機械室スペースについては、図書館の蔵書庫としての活用がいいのではないかと。
- ・ひばりが丘は利用人数の減少はあるが、利用件数、利用率は高い。保育付サークルについての活動は6館の中でも多い。
- ・保持する機能面では、学習支援保育、防災拠点、サークルへのコーディネーターと考える。
- ・ひばりが丘のスペースの有効活用として、空調設備機械があった室を備蓄倉庫としている。

芝久保公民館の一部転用等の検討について

- ・漸減傾向の2階の部屋の有効活用については、図書の重量に対応できないので蔵書庫としては難しい。
- ・創作室、視聴覚室などは利用率が高い推移を維持していることから、立地条件がだけでなく使いやすい部屋の工夫検討が必要と考える。
- ・従前からの公民館の利用者のみならず、公民館を利用しなかった市民にも利用しやすい方法を模索しながら考えていきたい。

質疑等

- ・今の報告については、文章になっているか
成文になってはいない。公民館としての考え方として記録は残る。
- ・芝久保の部屋利用についての検討は、PTだけの考え方か
芝久保については有効活用を図っていくことで、担当課とは連絡調整を図りながら検討している。
- ・田無公民館は耐震診断の関係があるので、公民館側だけでは動けない。
耐震診断結果により、対応策が出てくる。
- ・市民交流施設とは、どのような施設か、またいくつ位あるか
集会所、地区会館などをいう。25施設ある。近隣の方に鍵の管理などご協力を得ながらの管理している。
- ・公運審に諮問はするのか
しない。ご意見等を参考としたいと考える。全体の進み具合については、また、報告していきたい。
- ・前期の委員の有志の会としての意見要望があれば、現委員として経過を拝見したい。
調べる
- ・全体の整合性は
公民館としての取り組みについては、担当課とは連絡調整しながら進めていく。

(6) 第54回関東甲信越静公民館研究大会報告

- ・分科会はフリーに選択できればよかった。グループ討議が自己紹介程度で終わり、短かった。
3.11以降の公民館について他県市の参加者と情報交換を多くしたかった。

- ・当該元委員の報告には感動があった。被災地と持続交流についての努力を語った。
- ・参加者において、避難所の運営についての話として期待しての参加もあったことが見受けられ、ミスマッチのところがあったのでは。
- ・このような研修の場が有難い。いろいろな方と話ができてよかった。しっかり講師の話が聞けてよかった。状態調査ができる分野が、社会教育であることが分かった。
- ・地方では、どのような風にやっているのかということを知りたいが、新潟をはじめ地方の方と接する時間が少なく残念であった。そのような時間が十分ほしかった。

平成26年度は埼玉県において全国大会を兼ねて行われる。行田市が事務局である。平成27年は第56回大会として西東京市が事務局市として大役を担う。

議題3 事業計画書・報告書について

平成25年度公民館主催事業企画書（8件）、報告書（8件）
（事業計画書）

○田無公民館：

「料理がつながる地域交流」

独居の方を60人も募集できるのかと心配した。背景に民生委員との連携があることを知り安心した。参加者にひと時でも幸せを感じていただければありがたい。

地域に積極的に出て連携しようということで、企画した。来年はまた新たな展開をしたい。

保谷駅前公民館：

「地域を再発見」

2番目の日程については間違えていないか、野鳥は見えるが、半分位落葉し野鳥と植物の区別した観察ができないのでは、分けた方がいいのではないか

東大農場演習林と雑木林の野鳥を観察するふたつの構成となっている。

ひばりが丘公民館：

「いろいろな子どもの育て方 共生を考える講座」

タイトルだけでは、わかりにくいのでは、発達障害の方を対象にしていることを、募集に際し出さないのか。参加者を集めるのに大変と考えるが。

館内でも多く議論した。もしかしたら子供がそうではないかと悩んでいる保護者もおられると思うが、参加者に配慮したかたちで、このようなタイトルにした。広報については内容が分かるようにしていきたい。

市に教育相談の部署があることについて触れてほしい。

柳沢公民館：

「家族の介護について考える講座 突然訪れる介護の備えについて」

介護サービスの仕組みや包括支援センターのことなど、市の資料など用いわかりやすく説明していただきたい。

分かりやすい資料を用意したい。

芝久保公民館：

「平和を考える講座～写真から紛争地・被災地を知る～」

目標の立て方が意欲的で素晴らしい。参加者主体の講座形式に期待がある。

（事業報告書）

○田無公民館：

「第8回人形劇「フェスタ」 in西東京」

1,000人規模の事業、どの部屋でやったのか、また有料か

市民会館で実施した。前年度まで無料であったが、市民団体が委員会を立ち上げ運営し、良質な公演の提供ということで今年度は2,000円の有料事業とした。

「青少年もの作り講座 プロから学ぶアニメーション作り」

参加者が12人のところ4人の参加結果は、レベルが高かったのが原因ではないか。かなりの下準備をしなければならない。いい講座なので、再度チャレンジしてほしい。

ロビーの中でも展示など報告しながら、複合的につなげていきたい。

○柳沢公民館：

「こどもリズム講座 親子でチアダンスを楽しもう」

国体会場に見に行こうという気持ちで企画したのか

お見込みのとおり、親子で応援する気持ちで参加いただいた。

○芝久保公民館：

「環境講座「雑木林の樹木と草花に出会う」」

ロビーに講座の案内とともに花の写真を掲示することは、途中経過が分かりやすい。参加者だけでなく、ロビーにいる人に対してもPRになる。

ロビー展示の有効活用は継続的に実施している。また、このような取り組みを心掛けている。

○ひばりが丘公民館：

「科学の本と遊び講座ー楽しい実験から理科読も身につけよう」

昨今理科離れの中で目標より多く参加者があったことはいい。

「キッズ日本文化体験教室～水墨画・茶道に挑戦」

講座の仕組みが素晴らしかったと思う。初めての作品を会場に展示したこと、複合的に行っているのがいい。

講座にあたっての協力サークルにお礼申し上げたい。

「こわーいお話を聞く会」

年齢、保護者の付添い、お迎えなどは

小学生対象。子供だけの参加は夜間なので保護者のお迎えをお願いした。

全体感想等：

講座に活動サークルを活用するなどして、サークルの活性化を図っていただきたい。

講師の選定はどのようにするのかまた予算は

インターネット情報や各位人的なつながりなどにより、講師の適任者をさがす。原則20,000円を上限としている。

議題4 協議事項

特になし

議題5 事務連絡及び情報交換

・利用者懇談会日程

柳沢...11月9日（土曜日）午前10時、田無...11月7日（木曜日）午後1時30分、谷戸...10月26日（土曜日）午前10時

芝久保...10月24日（木曜日）午後1時30分、ひばり...10月12日（土曜日）午前10時、保谷駅前...10月18日（金曜日）午後7時

・その他報告事項

田無公民館利用サークルの騒音についての経過報告

平成25年6月下旬に、田無公民館近隣住民から公民館の騒音に対する苦情があった。

住民からは、騒音デシベルの基準の作成、防音設備の整備が要望された。書面においても、教育委員会（部長）に要望書が提出される。

公民館としての対応

1 太鼓を使用する各利用サークルに連絡して、夜間の使用時間の短縮と音出しの自粛をお願いした。さらに「太鼓の使用上の注意事項のチラシを、サークル会員に手渡しすることを実施」

2 簡易計測機で、騒音測定及び実態調査を実施

3 予算上の問題もあるが、実習室の防音対策工事も計画

9月上旬、田無公民館近隣住民が直接田無公民館の地下実習室で午後9時過ぎまで活動中の太鼓使用サークルに苦情を伝える。

9月中旬に住民と公民館の再度の話し合いを実施。

夜間の騒音は、やはり気になるレベルであることは変わらないとのこと。

田無公民館としては、太鼓使用時間及び音量の自粛について、一部のサークルが自粛対応できない状況をかんがみ、公民館で基準を作成して、各サークルには実行を依頼する方向で考えたい。

最終方針決定は、現在公民館長に委ねている。

次回の日程について

10月30日（水曜日）午後6時30分 於：田無公民館 第二学習室